

筑波大学大学院

図書館情報メディア研究科博士前期課程

学 位 論 文 抄 録 集

平成25年度

筑 波 大 学

はじめに

平成 25 年度筑波大学大学院図書館情報メディア研究科図書館情報メディア専攻博士前期課程修了者の修士学位論文抄録集を刊行いたしました。本抄録集には研究科の多様で先端的な研究の成果が集結しています。研究科長として、論文完成に至るまでの大学院生各位の努力を讃えるとともに、指導教員、副指導教員や査読者を始めとする論文作成に関わられた教員各位および学生の研究活動を支えられた支援室の職員の方々に感謝申し上げます。

図書館情報メディア研究科は、「情報メディアによる社会の知識共有とその仕組みに係る研究を発展させ、新しい時代に向かって社会をリードできる人材を養成すること」を使命としてかけ、社会における知識・情報の共有や、その仕組みとしての図書館や情報ネットワークを対象にした、人文学、社会科学、理工学等の多様なアプローチからの総合的・複合的な教育研究を行っています。そのような多面性を実現し、かつ大学院教育の実質化を推進するという観点から、本研究科博士前期課程では、修士（情報学）と修士（図書館情報学）の 2 つの学位に対応した教育プログラムを提供しています。今年度は、こうした教育課程で学んだ大学院生 41 名（うち修士（情報学）18 名、修士（図書館情報学）23 名）が修士の学位を取得できました。

博士前期課程の修了者は、公的機関や企業等で図書館情報メディアに係る専門家として実務に携わるもの、将来この領域の先駆的な研究者になるべく博士後期課程に進学するものなどさまざまです。どのような職であれ、修了者各位が本研究科で学んだことや修士論文を完成させるまでの研究生活の中で得た知見を活かし、知識情報社会のフロンティアとして活躍されることを期待します。

この修士学位論文抄録集は一論文当り 1 ページという分量を設定しています。研究内容によっては不十分かも知れませんが、研究の骨格を知るには十分と考えます。本研究科の教員・学生はもとより、本研究科とそこでの研究教育に興味と関心をお持ちの多方面の方々にもお読みいただき、図書館情報メディア研究の発展にご支援いただければ幸いです。

平成 26 年 3 月

図書館情報メディア研究科長 溝上智恵子

目 次

《 修士（図書館情報学） 》

赤 山 み ほ	公立図書館における指定管理者の導入要因
荒 川 唯	Twitter における学術関連情報発信者の特徴分析と分類
石 過 桃 子	大学図書館におけるソーシャルメディアの利用に関する 実態調査
大 坂 芙希子	歴史意識と資料保存観 —横浜市域における歴史編纂を題材に—
向 後 直 美	20 世紀前半アメリカにおける日系人の図書館意識 —アメリカ化の視点から—
澤 井 由 光	Web 上の郷土学習資料の利用性向上を指向したアノテーションツ ールの開発 —コンテキスト情報を与えるアノテーションとその Linked Open Data 化—
武 井 千寿子	大学図書館における電子ジャーナルの閲読と引用の オブソレッセンス分析
坪 井 優 美	論証型レポートにおけるアウトライン構成に関する 教育方法の検討
野 崎 裕 司	対面とインターネット上の読書会が知識獲得・視点取得・ 情動共有に及ぼす影響
福 澤 糧 子	大学生のタスク管理に関する研究 —筑波大学を対象に—
松 野 渉	ラーニングコモンズの構想・運営・受容
萬 波 幸	EU における移民を対象とした公共図書館サービス —社会的統合と生涯学習政策の観点から—
水 沼 友 宏	Twitter におけるバーストの検出と生起要因に関する分析
村 野 亜 子	家庭環境が幼児の読書能力に及ぼす影響
八 巻 龍	中高生を対象としたメディア・リテラシー育成のための NIE 授業 の開発と評価 —「選択」活動を中心として—

何	雯 凌	マンガ書誌データからの FRBR 第 1 グループ実体の同定 と実体間関係の発見 — Linked Open Data を利用した FRBR 化の手法— ……………
陳	睿	貸出履歴を利用した蔵書検索結果のリランキングに 関する研究 ……………
羅	秋 芬	アメリカの大学図書館における学生アシスタントについて ……………
李	路 遥	中国の「個人情報保護法」のあり方に関する考察 —日本における個人情報保護法の制定と施行を参考に— ……………
梁	雨 薇	五山僧侶の漢籍読書傾向について —明代の読書傾向と比較して— ……………
林	麗 娜	図書館に関する新聞記事の内容調査 ……………
冷	静	中国における大学図書館の学習支援について —北京大学図書館を事例として— ……………
根	岸 拓 也	新潟県立図書館における市町村立図書館支援サービスの 史的研究 ……………

《 修士（情報学） 》

青	木 秀 人	クラウドソーシングによるデータ列挙処理に関する研究 ……………
大	串 智 美	タイムライン型表現を用いた調理手順の視覚化 ……………
大	山 鉄 郎	統計的機械翻訳における語義に基づく大局的な情報を用いた 語彙モデルに関する研究 ……………
落	合 香 織	アジャイル開発モデルに基づくメタデータスキーマ設計手法と 支援システム ……………
川	澄 直 行	タブレット PC を用いた映像制作学習プログラムの開発 ……………
工	藤 剛	特許分類の共起を用いた技術動向調査手法に関する研究 ……………
小	平 優 衣	マンガ情報資源の Linked Data 化によるアクセス支援のための オントロジー開発 ……………
高	橋 享 平	学習マンガの表現形式の比較 ……………
田	中 圭	既存メタデータスキーマを用いたメタデータインスタンスからの スキーマ推定手法 ……………

堂 前 友 貴	半教師ありトピックモデルを利用した Twitter ユーザの 生活に関わる地域の推定
長谷川 数 馬	スキーマ進化に伴う XPath 式修正アルゴリズム
山 口 裕太郎	投稿活動に基づくマイクロブログユーザのプロファイリングに 関する研究
山 本 修 平	実生活 tweet に対する局面の階層的推定法に関する研究
米 島 まどか	浮上する記憶 — 振り返りを支援するライフログブラウジングシステム —
渡 邊 飛雄馬	データ転送量を考慮した Hadoop 性能改善方式の提案と評価
李 貴 香	パーソナリティー表現における色情報の判断指標に関する研究 — 心理アセスメント手法の図式投影法における適用を中心に —
石 崎 琢 弥	視覚特徴はどのような構造で反応と結合されるか — 刺激反応連合学習課題を用いた検討 —
任 海 因	遠隔ビデオ環境における二者間共食コミュニケーションの分析